

# 飛躍

HIYAKU

第 236 号

 東海大学附属高輪台高等学校 学校報

●発行日/2005年9月1日

●発行者/東海大学附属高輪台高等学校 校長・杉一郎

「知性と品性、そして感性を」

若き日に汝の思想を培え

Cultivate thy thought in thy early days

若き日に汝の体躯を養え

Make thy body vigorous in thy early days

若き日に汝の智能を磨け

Improve thy wisdom in thy early days

若き日に汝の希望を星につなげ

Chain thy hope to the stars in thy early days

TOP\*NEWS

## 全日空(ANA)と東海大学が連携 東海大学工学部 航空宇宙学科にパイロット養成コース わが国初の「航空操縦学専攻」を新設



共同記者説明会で固い握手を交わす松前総長(左)と全日空(ANA)山元社長(右)

### 夢のパイロットへの道 目の前に

小学校、中学校の卒業文集などに将来の夢として「パイロット」と書いた人は何人もいることでしょう。しかし、パイロットへの道は険しく、またその道がどこにあるのかも分からず、夢のまた夢と諦めた人もたくさんいることでしょう。来春から、この夢の道が皆さんの目の前に開けるのです。

東海大学と全日空(ANA)は、連携して、国内の4年制大学では初めてのパイロット養成コース「航空操縦学専攻」を、東海大学工学部航空宇宙学科に新設すると、マスコミを通して6月21日発表しました。

2007年度から、各航空会社では団塊世代パイロットの大量の退職者が見込まれます。しかも羽田空港の再拡張で便数も増え、パイロット不足は確実となり、全日空(ANA)は東海大学との産学協同で、優秀なパイロットの確保をめざすことになりました。

これまでパイロットになるには、航空会社のパイロッ

ト養成コース、航空自衛隊、あるいは短大以上を卒業後、航空大学校を卒業することが必要でした。しかし、今回開設されることになった「航空操縦学専攻」は、ANAおよびノースダコタ大学との連携により、在学中に航空操縦士の資格取得が可能です。厳しいハードルはありますが、夢のパイロットへの道が目の前に出現しました。

「航空操縦学専攻」には他の学部学科同様に、付属推薦で入学することができます。

推薦条件は次頁の通りです。

# パイロット養成コース 付属推薦を受けるには

- ① **第一次選考 7月中旬** 出願にあたって、英語検定2級証書、TOEFL400点以上(CBT97点以上)のスコア、TOEIC450点以上のスコアのいずれかのコピーの提示が必要です。  
※英語検定2級を受験し、7月下旬に結果の出る生徒は、受験票コピーを提出します。
- ② **第二次選考 8月下旬** 身体検査(第一種航空身体検査)・航空適性試験・面接試験(日本語と英語による)を実施します。

※東海大学とANAの奨学金を300万円ほど受けることができます。  
※詳細は東海大学広報課発行の『Pilot』をご参照ください。

## 1・2年生小論文コンテスト優秀賞

6月1日(水)東海大学付属推薦小論文試験(3年生)・小論文コンテスト(1・2年生)が行われました。3年生にとっては東海大学推薦入試における書類審査の1つであり、1・2年生にとってはその予行練習とも言うべきものでした。今回のテーマは「人間にとっての本当の豊かさとは何か」でした。

テーマに沿って、序論・本論・結論を組み立て、一定の字数を一定の時間の中で書くということは、容易なことではありません。しかし、今回ほとんどの生徒がこれをクリアしておりました。その上、

身近な例を挙げ、分かりやすい内容となっていました。よりよい小論文を書くための今後の課題として、表現力を高めるために、普段から日記などで書き慣れること。また、読書などで、ものの本質を深く考える訓練をすることが大切です。

来年、再来年の3年生の東海大学付属推薦小論文試験に向けて、今から小論文の書き方をしっかり身につけておきましょう。今回優秀賞に選ばれたのは2年1組川谷ゆき絵さん、1年4組西田奈美さんです。おめでとう。

### 人間にとっての本当の豊かさとは何か



**川谷 ゆき絵**  
2年1組、墨田区立錦糸中学校出身

よく「金があれば幸せ」と聞きますが、本当にそうでしょうか？近年、科学技術の発達により新しいものや便利なものが増え、それらはたいていお金で買えます。

お金は時に、人を悪い方向へ導いていきます。例を挙げると、どうしても欲しいものがあって、金融機関からお金を借りた人がいました。借りた結果、欲しいものが手に入り、一時は喜びと幸せに浸っていましたが、その後、利子が日々増えていき、とうとう返済ができなくて、その人は自殺へ手を伸ばしたそうです。こういったように、お金は一時的

な幸せを与えてくれていますが、その幸せは、この忙しい現代の人達にとってずっと残るものではありません。そして人を必ずしも豊かにしてくれるものではありません。

私が考える幸せは、自分の身の回りの人たちと触れ合い、学び、そして互いに助け合って生きていくことではないかな、と思っています。人と人が触れ合うと、自分の気づかないところで、自然に心は成長していきます。心が成長すると、人間的にとても大きくなりますし、豊かになるとも思います。お金があったら、それは幸せかもしれませんが、お金では人と人の触れ合いは買えないし、心が成長するのも難しいでしょう。せっかく人間として生まれてきたのだから、人間しかできない事、人との触れ合いを大切にすべきだと思います。それが「人間にとっての豊かさ」につながると思います。

# 第37回 剛健旅行 1,457名参加 完歩率97.9%

## ～雨の中、霧の中、ゴール目指した～

梅雨も明けぬ7月14日、嬬恋村の青々と広がるキャベツ畑が今年も私達を迎えてくれました。

今年は、傾斜の緩やかな新道を利用することで、去年よりも男子は2km、女子は200m長い距離を歩くこととなりました。2年に一度は雨が降るというジンス通り、今年は男女ともに雨に降られてしまい、更に夜には深い霧が発生し視界が悪くなってしまいました。友達と励まし合いながらゴールを目指す姿は微笑ましいものでした。ゴールした時は、苦しくも達成感に満ちあふれた表情をしていました。

今年も多くの方々にご協力いただきました。ありがとうございました。

### 男子トップ10 (41.2km)

1位	3年	1組	小比賀 慧 (3時間39分)
2位	2年	2組	山田 幹
3位	3年	2組	高塚 正和
4位	3年	4組	藤田 大夢
5位	2年	4組	浦本 洋志
6位	3年	10組	山下 貴之
7位	2年	9組	中野 大輔
8位	2年	6組	阪本 桂祐
9位	3年	3組	瀧田 亮
10位	3年	9組	栗竹 諒

### 女子トップ10 (23.9km)

1位	2年	1組	丸子 夏季 (2時間38分)
2位	2年	10組	内田 杏奈
3位	2年	6組	篠永 麻美
4位	3年	3組	曾我部 歩
5位	3年	10組	山下 綿実
6位	3年	4組	相馬 里美
7位	3年	9組	進藤 麻美
8位	3年	11組	牧 美里
9位	3年	7組	今村加奈恵
10位	3年	6組	本間 景子

### 最後の剛健旅行

おびか さとし  
小比賀 慧

3年1組、品川区立富士見台中学校出身

今年の剛健旅行は距離が延びたこともあり、昨年よりもさらに過酷なものになりました。雨も降り、霧も深く、視界がうまく確保出来ず悪条件が重なり、特にラストの上り坂は距離的に考えても、とても辛かったと思います。1位でゴールテープを切ったとき、この苦しみを克服して終わった事に感動しました。本来、剛健旅行とは順位やタイムを競い合うレースではなく、辛い時にいかにして弱い

自分に打ち勝ち、リタイアせずに完歩することが出来るかということが目的なのだとは僕は解釈しています。しかし、今回僕はサッカー部として普段の練習で得た力を試そうと思い、1位を目指しました。

剛健旅行は僕たち自身の精神を鍛えてくれるとても良い学校行事だと思います。

僕にとって最後の剛健が終わりました。

最後に、今回の運営にあたっていただいた先生方、保護者の皆様、最後まで残ってゴミ拾いをしてくださったソフト・硬式テニス部のみなさん、そして嬬恋村の村民の皆様には感謝したいと思います。





# 夏休みの活動報告



## 野球部東東京大会においてベスト16!!

### 大会をふりかえって

野球部 瀧田 将弘

3年2組、大田区立矢口中学校出身

#### 試合結果

- 1回戦 対 大森学園高 2-1
- 2回戦 対 東京成徳大高 13-1
- 3回戦 対 筑波大付属駒場高 8-2
- 4回戦 対 日体荏原高 10-2
- 5回戦 対 帝京高 1-8

この大会、我が野球部は去年と同様ベスト16という結果で終わりました。正直、この結果に誰も満足していません。しかし、後悔している選手も誰一人としていません。それは、やはり、これだけの環境で最高の仲間と共に戦うことができたからだと思います。これまで、このチームになってから行ってきた厳しい練習、強豪との試合を重ね、やるべきことはやったと思っています。しかし、監督やコーチ、保護者の方々の努力やご支援を考えると、報いることができなかったことが悔やまれます。今後は野球部の誇りを忘れずに日々の生活の中で恩返しをして行こうと思います。新チームも温かく見守って下さい。



## 最後の夏

ダンス部 高木 有香

3年1組、墨田区立豊川中学校出身

この半年間、私たちは、高校のダンス部において最も大きな大会である「ミスダンスドリルチーム」に向けて、日々練習してきました。辛く苦しい時もありましたが、たくさんの人の支えもあり日本大会に出場する事ができました。8月7日、大会当日、大勢の観客に少し緊張しながらも、大歓声の中、私たちはもちろん、お客さんにも楽しんでもらえるよう精一杯踊りました。残念ながら世界大会出場切符を手に入れることはできませんでしたが、私たちは私たちがらしい演技ができたと思います。そして、何よりもこの仲間とダンスをする事ができたことが幸せ

でした。今回の経験を活かし、私たちの引退の場でもある建学祭でみなさんに最高のショーをお見せします。最後になりましたが、今まで私たちを支えてくれた人たち、応援していただいたみなさんに心から感謝いたします。



## 関東大会に出場して

水泳部 岩村 宗俊

3年9組、学習院中等科出身

僕は、7月24日に、山梨県で行われた関東高等学校水泳選手権大会の200M背泳ぎに出場しました。高校の代表として出る関東大会は初めてで、これまでの都大会などの大会とは違う緊張感がありました。結果は、自己ベストは更新したものの、2分12秒49で13位でした。全国

大会の標準記録2分11秒09を突破出来ず、インターハイに出場するという僕の夢は叶いませんでした。たった「1秒40」に泣くことになりました。普段の生活では1秒はほんの一瞬ですが、水泳の世界では非常に大きな「1秒」なのです。天と地ほどの差です。しかし、精一杯の泳ぎは出来たと思うので、悔いのないレースとなりました。これから、来年に向けてがんばりなおします。先生方のご指導によって、都大会や関東大会に出場出来たことを本当に嬉しく思います。本当にありがとうございます。



## 夏休み SSH活動報告 伊豆大島にて3校合同研修

8月2日から4日にかけて、SSHに指定されている関東3校（本校、千葉県立柏高校、芝浦工業大学柏高校）による伊豆大島合同野外実習が行われ、本校からは希望者8名が参加しました。初日は、三原山の火口などの見学。2日目は、火山、森林、磯の3つのチームに分かれ野外実習をした後、個々人で実習結果をポスターにまとめました。3日目はポスター発表で、生徒同士の活発なディスカッションが行われました。生徒にとっては、理科についての知識だけでなく、他校生徒との交流から学ぶことも多く、充実した実習になったことと思います。

### 大島での磯の観察

武 佑哉

2年11組、我孫子市立我孫子中学校出身

私は潮間帯、磯に生息する生物の観察及び記録をしました。磯では身近なイソギンチャクなどから、初めて目にしたウツボまで、様々な生物を観察することができ、とても貴重な体験となりました。なかでも、ヒトデの移動方法は目を見張りました。触手を使うのではなく、裏面に無数に存在する「管足」と呼ばれる吸盤付きの足で、移動していました。ヒトデは、その特徴的な五本の触手で、移動するものだとばかり私は考えていました。単純な私の思いこみに、誤った知識に、大きな衝撃を受けました。今回、他校との合同合宿で、大いに刺激を受けました。これからも連携を続け、わが校の活動範囲を広げ、今後のSSH活動を更に活性化させられればと願っています。



磯の生物採集

### 溶岩上に育つ植物

岡部 広行

1年10組、西東京市立明保中学校出身

2日目の野外実習で、僕は森林について調べました。山を登り、溶岩上で育った植物を観察しました。溶岩と火山灰でおおわれた裸地では、ハチジョウイタドリという先駆植物が生え、次にススキやアジサイなどの植物が育ち、いずれ数百年のうちにこの溶岩流も森林になります。この植物群落の時間的変化（乾性遷移）の各段階の様子を実際に見ることができました。また、同じ植物でも環境によって、葉の大きさや生え方が違っていたのはとても興味深かったです。火山や植物、特に植物について、いろいろな見方や知識を得ることができました。さらに、新たに疑問が見つかり、そのことについて調べるといふ課題まで得られたことが、一番の収穫でした。



火山灰の採集

### SSH活動から得た学びを楽しむ心

松田真珠美

3年1組、大田区立大森第十中学校出身

今回の最大の目的である、2日目の実習。私は事前学習の際、火山弾に興味を持ち、溶岩や火山弾を調べる班を選びました。ホテルから1時間ほど歩いてやっと到着した所は、霧で3歩先が見えませんでした。進むべき方向を模索しているとさっと霧が晴れ、眼前に広大な荒れ野が姿を現しました。今は凝固した真っ黒い溶岩は、噴火時はドロドロと火の川のように流れ、ここまで来たのです。19年前の噴火で、火山弾が落ちた衝撃によってできたと思われる地面のくぼみも、はっきり残っていました。19年間、このくぼみは消えずに残っています。何とも言えない感動が、胸に湧き上がってきました。

学びに何が必要なのか。それは「学びを楽しむ心」だと、この旅行に参加し、改めて思い知りました。そういう姿勢は非常に大切です。私はそれを学ぶために、これからも色々なことに積極的に取り組んでゆきたいと思います。



地層切断面の観察

# 2005年度学校運営方針 学校改革・改善

## 知的財産教育への積極的な取り組みの推進 基本的生活習慣を身につける

### 知的財産教育への積極的な取り組みの推進

……科学や技術を創造する個性あふれた人材の育成・教育をめざして……

資源の乏しいわが国は、「科学技術創造立国」または「知的財産立国」を実現することによって平和で、創造性あふれる豊かな国づくりに積極的に取り組んでいます。そのために、科学や技術を創造する個性あふれた人材の育成・教育が求められています。本校では2003年度より、東海大学との連携のもとで、「知的財産教育推進委員会」が中心となり、「高校現代文明論」・「ホームルーム」の時間を活用し、「知的財産教育」を推進しております。

- 1学年:高校現代文明論の中で、4時間を使って、「知的財産権」とは何かを学びます。
- 2・3学年:ロングホームルームを使って、「知的財産の創造」を学びます。
- 学園オリンピック「知的財産部門」への生徒の積極的な参加を促しています。

今年、2年1組 奥山猛君、3年1組 栗原奈苗さんが、見事一次審査を突破して、東海大学 孺恋高原研修センターで実施された「学園オリンピック夏季セミナー」に参加しました。



孺恋高原研修センターでの知的財産部門の研修

### 基本的生活習慣を身につける

私学の特色の1つは、徹底した生活指導にあります。基本的生活習慣を身につけることにより、生徒の学習に対する姿勢が積極的になり、より効果的な教育が実践できます。

基本的生活習慣の中で、特に挨拶の励行、欠席・遅刻・早退をしない、身なりを清潔にするなどの指導を徹底します。

学校と保護者が連携し「共育体制」を推進します。

社会規範意識の指導を徹底することにより、地域のみなさんから愛される生徒を育成します。

全教職員が、範を示し、放任不可、例外不認の原則をもって生活指導にあたります。本校を訪れた他校の教員、学校見学の中生や保護者、来客などの多くの方が、本校の生徒の元気な挨拶や、丁寧な対応に驚いています。今後も、基本的生活習慣が身につくよう指導を重ね、教育環境向上に努めていきます。

## 活躍

## する卒業生

## Active Graduates

2001年卒

坪井 花梨

法政大学哲学科在学  
NPO法人カリヨン  
子どもセンター事務局

「希望を星につないで活躍する先輩」、今月は男女共学一期生の坪井花梨さんです。東京弁護士会が人権意識を高めるため、演劇を通して啓蒙活動を行っていますが、その脚本を担当している方が坪井さんです。抱え切れないほどの深い悩み、傷を負った少年たちの視線にあわせて、坪井さんは、人権を社会に力強く訴えています。

私は現在、大学に在籍しながら、「NPO法人カリヨン子どもセンター」のお手伝いをしています。ここでは弁護士と児童福祉関係者と市民が連携して、帰る場所がない・行き場がない子どもを支援しています。子どものためのシェルター（緊急避難場所）「カリヨン子どもの家」と、自立援助ホーム「カリヨンとびらの家」の運営がその活動の中心です。

2004年6月の開設から今日までに、15～20歳の男女、のべ32名がカリヨンへやってきました。子どもたちの背景は様々ですが、虐待や非行等で家庭や施設にいられなくなった

ケースがほとんどです。子どもたちは皆、深刻な心の傷を抱え、不安と恐怖で混乱しながら、親や自分自身と必死で戦っています。

またカリヨン子どもセンターは、東京弁護士会子どもの人権と少年法に関する委員会が毎年公演する『もがれた翼』というお芝居の中で、弁護士たちの夢として語られた施設が始まりでした。公演は今年で12回目を数えます。毎年、高輪台高校と望星高校の生徒さん、先生方が協力してくださっています。

夢は思いが強ければ実現

する。人は人の中にあって初めて癒され、前進できる。そんな力強く、温かい真実は私自身をも励ましてくれます。「あなたはひとりじゃないよ」というメッセージを胸に、これからも子どもたちに寄り添っていきたいと思っています。



カリヨン子どもセンターの支援活動について弁護士と話し合う坪井さん(中央)

## 高輪短大 INFORMATION



## みえない海を望む

渡辺 允康

情報・ネットワーク学科教授

ここ高輪台は我校の校歌にもあるとおり昔は房総半島を望むことができたのですが、都市化や再開発によって高層ビルがたち並び随分景観も変わってきました。でも少し考えてみると、ビルの背後には確かに太平洋の海が広がっているのです。

校舎の屋上は十分に安全とはいえない場所なので学生は許可なしに立ち入ることはできませんが、ここからみえない海に想いを巡らすと、どんな人も夢が広がるような気がします。遠くを望むという空間的な視座は、古来より時代の英雄

や偉人に共通した眼差しで、例えば創立者の松前重義先生や坂本竜馬などにつながる感覚です。

私は短大で造形やデザインを教えて20年になります。当初は理工系の短大の中にコンピュータを駆使した新しいデザインコースを発足し、そのお手伝いをするというのが私の仕事でした。短大はこの分野ではパイオニア的存在といっても過言ではありません。今では芸術・美術系の大学の教室にもコンピュータが導入され、映像デザインや情報デザインを中心に教育分野をさらに拡張させているのが現状です。

短大のデザイン教育の目標は芸術・美術系の大学にはない魅力あるものを目指さなければならないのは言うまでもありません。

今、私に与えられている課題は「コンピュータ時代における造形教育のあり方」であると同時に、かつては芸術家を目指す人のみに与えられた特権的な感性教育を解放していくことにある、と強く感じています。

感性教育で一番大事なのは「発見と感動」です。コンピュータの利用法が分かり、基本的スキルを修得できても、その時点では何も生まれません。短大は「創造力、人間力を育む学校」です。創造力が必要なのは芸術系も工学系も情報系も変わりありません。より大事なのは夢をもつ、大きな夢をもつことです。

目先のことにとらわれてはいけません。創立者が「建学の精神」で伝えたかったのは、実はこのことなのだと思っています。



# お知らせ

## 保科和彦君快挙!! 世界柔道 選手権大会に出場!! エジプトでの活躍を期待します



9月8日～11日、エジプトのカイロで開かれる世界柔道選手権大会に3年9組の保科和彦君が出演。日本とフィリピンの2つの国籍をもつ保科君は、今回フィリピン代表として出場します。保科君は高輪台高等学校の柔道部の希望の星です。学校をあげて応援しましょう!

## 第4回 体育祭

9月29日(木) 雨天の場合 30日  
本校総合グラウンドにて

今年は9月に体育祭が行われます。昨年は悪天候で中止になってしまいました。その分、みんなで盛り上げて、充実した1日にしましょう。てるてる坊主を忘れずに…

※運動靴を忘れないこと。

## 訂正とお詫び

7月号に下記の誤りがありました。お詫びして訂正いたします。なお、本校ホームページ上の「飛躍」には、正しく掲載してあります。

- ①5頁「学園オリンピック1次通過者発表」数学部門  
誤/平野一貴(君)→正/平野一貴(君)
- ②8頁「おしらせ」「2005年度 学園基礎学力総合試験(3年)」  
誤/9月3日(土)→正/9月6日(火)
- ③8頁「9月予定表」  
誤/23日(金)春分の日→正/23日(金)秋分の日

## 研修旅行の思い出

6月20日から5泊6日で行なった研修旅行。まだ2ヶ月しか経っていませんが懐かしいですね。



沖縄 琉球村にて



オーストラリア オペラハウス前にて



ハワイ ホストファミリーと

## 行事予定

### September 9月

### October 10月

- 1日(木) 避難訓練・朝礼後短縮授業
- 3日(土) 後援会委員総会
- 5日(月) 中学校巡回、生徒自宅学習日
- 6日(火) 外部実力試験(1・2年)  
学園基礎学力総合試験(3年)
- 8日(木) 生徒による授業評価アンケート(第2回)
- 9日(金) 学年集会(3年)
- 14日(水) 専門医によるカウンセリング
- 15日(木) 期末試験(～21日)
- 19日(月) 敬老の日
- 22日(木) 採点日(生徒休業日)、校医相談日
- 23日(金) 秋分の日
- 26日(月) 答案返却
- 29日(木) 第4回体育祭
- 30日(金) 振替休日(建学祭)(第4回体育祭予備日)

- 1日(土) 保護者会
- 3日(月) 後期始業式・後期授業開始
- 4日(火) 東海ウインドフェスティバル  
中学校教員学校説明会  
塾教員学校説明会
- 5日(水) 建学祭開祭式(7時限目)
- 6日(木) 建学祭準備  
学校保健委員会  
校医相談日
- 7日(金) 建学祭準備
- 8日(土) 第41回建学祭(～9日)
- 10日(月) 体育の日
- 11日(火) 建学祭閉祭式
- 12日(水) 体育移動教室(～11/18)  
専門医によるカウンセリング
- 15日(土) 英検(9:00～12:00)
- 16日(日) 受験生・保護者学校見学説明会(10:00)
- 17日(月) 保護者面談(2年、～11/19)
- 18日(火) 理科モデル校公開授業・研究会
- 19日(水) 高校現代文明論・英語モデル校公開授業・研究会
- 20日(木) 東海大学進学説明会(1年、1時限目)  
教育実習②(～11/11)
- 27日(木) 学年集会(1年)
- 29日(土) スポーツ大会(3年、アリーナ)
- 31日(月) 木曜日の授業

## 編集後記

夏休みも終わり、久しぶりに会った生徒たちはきれいな小麦色に焼けています。部活や勉強に励み、充実した夏休みを過ごせたのではないのでしょうか。私の高校時代の夏休みの思い出は苦しく辛い部活(柔道)のみ。しかし、それも今となっては良い思い出であり、あの時の経験が今の私の大きな力となっています。今月末には前期期末試験があります。試験が終われば、体育祭に建学祭。苦しいことの後には必ず楽しいことが待っています。今日からまた、文武両道の精神でがんばりましょう。(は)

東海大学付属高輪台高等学校

TEL.03(3448)4011 FAX.03(3448)4020 ホームページ: <http://www.takanawadai.tokai.ed.jp/>